

トレードルーム 拝見

Trading Room



井上磨揮さん

横浜市に在住の井上磨揮さんのトレードルームを訪ねてみました。井上さんは、ご自身のFXトレードについて、次のように語ってくれました。

「私は経済学者でもありませんし、証券アナリストでもありません。投資銀行や、シンクタンクに勤めていたわけでもありません。資産家でもありませんし、相場の師匠もいませんでした。すべて独学で、高い授業料を払い、相場での経験を積んできました。」

全身全霊で10年間トレードに打ち込むことにより、短期的に相場が読めることが多くなりました。まじがんと時間がかりましたね(笑)。私は、トレーダーという職種は、取引作業を行う労働者だと考えています。とてもとても、優雅な不労所得を得る投資家さまではありませんね。まあ、トレード手法にもよる違いはあると思いますが……」

また、FXトレードを行ううえで、何が参考になったのかと伺うと「トレードには直接関係

公式サイトThe 045 Fund <http://www.045fund.com/>

— fx-konyaku.com —

ないと思われませんが、以下のようなジャンルの書籍も為になりました。キーワードを上げると、**失敗学、脳科学、胆力、打たれ強さ、行動心理学、金融の歴史**、とかになると思います。今から考えると、リーマンショックも、起るべくしておきたんだなあと思えます。だって、極東のこんな小さな島国からも、資金を集めないとカジノ型資本主義のマネーゲームは回転しなくなっていたんですから……。結局、相場は上がるか下がるかの2つだし、注文発注はマウスを数回クリック



すればできますし、相場は常に、巨大で気まぐれで自由に動いているので、われわれは、相場が与えてくれるチャンスを待つ以外にないと思います。

今、目の前で動いている値動きをどうとらえるか？リーマンショックの値動きのときに、頭を抱えて自殺した人もいれば、ガッツポーズで人生が最高に変わった人もいます。共に見ていた値動きは同じはずです。あとは、ユーチューブにぐるぐる転がっている「名言集」みたいなものにも、結構、助けられましたね(笑)」